

第5回 日・インドネシア防災協働対話(2020.2.11)【結果概要】

国土交通省及びインドネシアの公共事業・国民住宅省(PUPR)と国家防災庁(BNPB)は、2020年2月、ジャカルタで「防災協働対話」を開催し、水災害へのソフト・ハードの対策について議論しました。

- 1.背景・目的
- ✓ 国土交通大臣と公共事業・国民住宅大臣との覚書と議事録、さらに国土交通大臣と国家防災庁長官との議事録に基づき、これまで4回※ワークショップを開き、水災害対策に係る技術・経験の共有や本邦防災技術の展開を図っている。 ※)2014.11、2016.3、2017.2、2018.12
 - ✓ 第5回の今回は、2019年1月のマカッサルでの洪水と2020年1月のジャカルタでの洪水を受け、「避難のためのソフト対策」、「外力を減らすためのハード対策」について議論。
- 2.日程・場所 2020/2/11(火)13:00～16:00 於:ジャカルタ(公共事業・国民住宅省 水資源総局 会議室)
- 3.参加者
- 【日本】国土交通省(水局国際室:村瀬室長・鈴木補佐、水資源計画課:松村専門官)、水資源機構(尾島国際課長)、菊田JICA専門家(PUPR派遣中)、多田JICA専門家(BNPB派遣中)、JICAインドネシア事務所(小川次長他)等
- 【インドネシア】公共事業・国民住宅省(水資源総局:ウィディアント総局長ほか)、国家防災庁



ワークショップの様子



菊田専門家・多田専門家



インドネシア側の発表者



参加者一同による集合写真

実施
結果

議論を通じて、以下を確認。

- ✓ ソフト対策・・・データ蓄積・訓練等の準備、省庁等の連携、失敗を克服しながらの繰り返しの改善が重要。
- ✓ ハード対策・・・事業を加速化するための住民理解の促進、総合的な対策の組合せが重要。
- ✓ 今後も両国間の対話を継続し、成功・失敗の経験や、データの収集・活用等の技術を共有していく。